

第2回岡谷新校再編実施計画懇話会

日時：令和6年5月28日（火）

午後6時から午後7時

会場：おかや総合福祉センター2階
大会議室

次第

1 開 会

2 県教育委員会挨拶

3 新構成員自己紹介

4 会議事項

(1) 「第1回岡谷新校再編実施計画懇話会」まとめ

(2) 校地検討会議について

(3) 各校生徒の皆さんによる学校・学びの紹介

①岡谷東高校

②岡谷南高校

5 その他

次回の予定

【日時】 令和6年7月～8月 午後6時～午後7時30分

【場所】 未定

【内容】 有識者による講演

6 閉 会

岡谷新校（仮称）再編実施計画懇話会 構成員名簿

○印 新規構成員

	区分	氏名	所属等
1	自治体	早出 一真	岡谷市長
2		宮坂 享	岡谷市教育長
3	産業界	木下 敏彦	岡谷商工会議所 副会頭
4		山田 昌義	(有) ニシキ精機 代表取締役社長
5	学識 経験者	広瀬 啓雄	公立諏訪東京理科大学 副学長
6		岩間 英明	松本大学人間健康学部スポーツ健康学科 教授
7		坪谷ニューウェル郁子	東京インターナショナルスクール 理事長
8	地域	遠藤 美千子	(株) エー・トゥー・ゼット 代表取締役社長
9		太田 博久	(株) 太田屋 代表取締役社長
10		笠原 新太郎	笠原書店 代表取締役社長
11		○ 竹花 顕宏	諏訪地域振興局 局長
12	同窓会	山本 美保子	岡谷東高等学校同窓会 会長
13		林 秀徳	岡谷南高等学校同窓会 副会長
14	PTA	○ 田口 あゆみ	岡谷東高等学校PTA 会長
15		○ 共田 武生	岡谷南高等学校PTA 会長
16		○ 笠原 康弘	諏訪PTA連合会 代表 (岡谷市PTA連合会長)
17	小中学校 関係者	小口 貴一郎	諏訪校長会 代表 (川岸小学校 校長)
18		山田 典史	諏訪校長会 代表 (岡谷東部中学校 校長)
19		瀬志本 進	花田養護学校 校長
20	再編 対象校	藤森 心愛	岡谷東高等学校 生徒代表
21		荒木 俊亮	岡谷東高等学校 生徒代表
22		水野 日向	岡谷南高等学校 生徒代表
23		高田 香望	岡谷南高等学校 生徒代表
24		○ 倉坪 崇之	岡谷東高等学校 校長
25		○ 小宮山 健司	岡谷東高等学校 教職員
26		藤澤 雅道	岡谷南高等学校 校長
27		森澤 太平	岡谷南高等学校 教職員

事務局

岡谷東高等学校		岡谷南高等学校		高校再編推進室	
奥原 貴彦	教頭・副事務局長	○藤澤 幹彦	教頭・事務局長	原 多恵子	主幹指導主事
小宮山 健司		森澤 太平		○有坂 清明	主任指導主事 (担当)
中村 龍馬		松本 雄二		○土橋 邦彦	主任指導主事 (副担当)
○西澤 久美子		○奥村 達朗			
		○今井 靖			

第1回 岡谷新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日時	令和6年1月23日(火) 午後6時～午後7時30分		
場所	おかや総合福祉センター 大会議室		
出席 (敬称略)	早出一真、宮坂 享、木下 敏彦、広瀬 啓雄、岩間 英明、坪谷 ニュウエル 郁子、太田 博久、笠原 新太郎、宮原 渉、山本 美保子、林 秀徳、関 克司、吉原 真司、林 賢司、小口 貴一郎、山田 典史、瀬志本 進、藤森 心愛、荒木 俊亮、水野 日向、高田 香望、大倉 宏夫、小山 英樹、藤澤 雅道、森澤 太平 (以上25名)		
欠席 (敬称略)	山田 昌義、遠藤 美千子 (以上2名)	傍聴	11名
事務局	岡谷南高校	長坂教頭(事務局長)、井出教諭、松本教諭、村松教諭	
	岡谷東高校	奥原教頭(副事務局長)、小宮山教諭、中村教諭	
	県教育委員会	宮澤高校再編推進室長、中島主幹指導主事、田中主任指導主事、原主任指導主事	
当日資料	次第、構成員名簿、開催要綱、今後のスケジュール(案)、パワーポイント資料、配席図		

会議事項

- (1) 座長選出 ◎岡谷市教育長 宮坂享構成員を座長に選出
- (2) 「高校改革～夢に挑戦する学び～」(県教委より説明)
 - ① 「実施方針について」
 - ② 「再編・整備計画【三次】」
 - ③ 岡谷新校の学校像(例)
- (3) 質疑応答及び意見交換

構成員から出された主な質問・意見(要旨) (→県教委回答)

《質問》

- ・単位制について、もう少し詳しく教えてほしい。また、単位制になれば、他校との連携も考えられるか。
→多くの学校で採られているのが「学年制」。これはそれぞれの学年で修得する単位が決まっていて、1つでも修得できないと進級できない仕組み。それに対して「単位制」は、学校で定めた卒業認定要件の単位数を修得すると卒業できる。単位制になると、例えば入学年度を超えた学び合いも可能になる。学校間連携や、学校外活動の単位認定は、すでに制度として認められている。諏訪地区全体で出来るようになると面白いのでは。

《新校に期待すること》

- ・教育移住という観点からも考えてみたらいかがか。また、一人ひとりの生徒の個性を引き出し、それを進路選択に繋げていくような教育内容を考えてほしい。
- ・高校生のうちから、主権者として、地域づくり、社会づくりに関われるような教育内容にしてほしい。
- ・英語に興味があるので、「グローバルな視点、ローカルな学び」に魅力を感じた。
- ・単位制という制度が新鮮で興味深い。
- ・生徒が自分のやりたいことを選び、それぞれの道に進んでいけるような高校。
- ・両校の良さを活かしながら、英語や情報について深く学べるような学校。
- ・高校の出口も意識しつつ、生徒の自主性を最大限大事にした学校。そのために、社会や地域の小中学校との連携という視点も大事にできるとよい。
- ・多様性のある学校として、長野県の中のシンボリックな存在。
- ・インクルーシブ教育、共生社会を牽引していくような学校。
- ・日常会話レベルの英語力をつけるには3000時間程度必要。これを目標とするならば、どのように時間を計画的に確保していくかが重要。
- ・生徒がやりたいことを選んだら、高校側はそれをとことん追求できる場を提供する必要がある。今後主流になっていく総合型選抜入試に耐え得る生徒を育ててほしい。

その他

【次回】

日時：令和6年5月中下旬 午後6時～午後7時30分

会場：未定

内容：両校生徒による学校・学びの紹介、学びのイメージに係る意見交換 など

岡谷新校再編実施計画懇話会 校地検討会議について（案）

1 校地検討会議の目的

県教委が、岡谷新校再編実施計画懇話会における意見交換を受けて校地を決定するにあたり、岡谷新校再編実施計画懇話会に専門会議（校地検討会議）を設置して事前に意見交換することによって、岡谷新校再編実施計画懇話会の意見交換を円滑に進めることを目的とする。

2 運営について

- (1) 会議には部会長を置く。
- (2) 会議は原則として非公開とする。
- (3) 開催は懇話会と同一日を基本とする。
- (4) 会議の内容については、随時懇話会で報告する。

3 構成員

	区分	氏名	所属等
1	自治体	早出 一真	岡谷市長
2		宮坂 享	岡谷市教育長（懇話会座長）
3	産業界	木下 敏彦	岡谷商工会議所 副会頭
4	同窓会	山本 美保子	岡谷東高等学校同窓会 会長
5		林 秀徳	岡谷南高等学校同窓会 副会長
6	学校関係者	倉坪 崇之	岡谷東高等学校 校長
7		藤澤 雅道	岡谷南高等学校 校長

地域振興局長は発言権のないオブザーバーとして会議に参加できる

学校紹介

1



コース別授業

- 健康スポーツコース
- 教養フロンティアコース



2

健康スポーツコース

体育実技・専門科目、福祉科目と実習が中心
松本大学との連携授業、校外学習など

1年次

共通基礎科目



2・3年次

専門分野の学習

3



諏訪湖に行きボートの授業



やまびこスケートの森に
行きカーリングの授業



4

教養フロンティアコース

基礎科目、選択別授業、地域体験型授業が中心
信州豊南短期大学との連携授業、交流など

1年次

共通基礎科目



2・3年次

人間系 (文系) or 自然系 (理系)

5



信州豊南短期大学との連携授業



自分たちで作った英語
芝居の読み聞かせ

6

ICT環境の整備



ICTを駆使した生徒会活動

- ・ICTを活用した授業 → 生徒主体の学び
- ・電子黒板での授業展開 → 効率的
- ・スマートフォンやタブレット
を活用した自己学習評価や小テスト → 即確認可能
- ・GoogleClassroomやマイロートの活用
→ 個別最適化・知の共有

7

【授業の様子】



電子黒板やスマホ・タブレットを
利用した授業



8

制服について



9

～学校行事～

10

～1学期～

- 入学式
- 対面式・クラブ勧誘会
- お花見
- クラブ集会
- 壮行会
- クラスマッチ
- 東高祭**



11

ひろがれわたしとは

地域の協力のもと
と行う職業体験
学習の事です。



12

PTSについて

13

PTSの紹介

- **P**(Parent) : 保護者
- **T**(Teacher) : 先生
- **S**(Student) : 生徒

東高をより良い学校にしていくための協議機関

14

協議会とは

全校からでた意見
や要望などを保護者、
先生、有志の生徒で
議論し、合意形成へ
と図る会



15

変化したこと

- ▶ 自販機の設置
- ▶ 制服の改良(リボンのスナップ制など)
- ▶ テスト用紙の配布方法(冊子形式に)
- ▶ 冬季登下校のズボン着用について
…ウインブレ・ジャージ
(スウェットを除く)着用可。

16

～3学期～

- **かるた会**
- 学習成果発表会
- 三年生を送る会
- 卒業式
- 終業式・離任式



17

～クラブ活動～

18

クラブ活動

<運動部>

- ・男女バスケットボール
- ・男女バレーボール
- ・バドミントン
- ・硬式テニス
- ・弓道
- ・スケート
- ・陸上
- ・サッカー

19



20

クラブ活動

<文化部>

- ・華道
- ・ボランティア
- ・写真
- ・書道
- ・軽音楽
- ・英語同好会
- ・美術
- ・家政
- ・吹奏楽
- ・演劇
- ・ダンス

21



22

～生徒会活動～

23

東高ラジオ

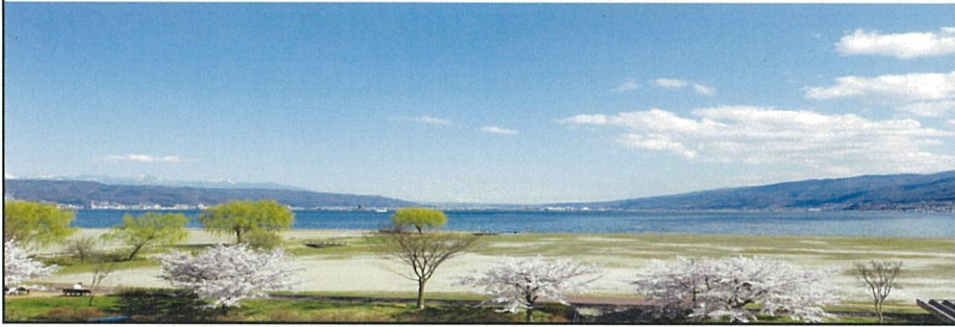
毎週金曜日 12時～

24



岡谷南高等学校 学校紹介

全日制普通科 各学年5学級



1



校舎



2

栄光の歴史

- ▶ 1951年(昭和26)男子バレー部 インターハイ優勝
- ▶ 1976年(昭和51)ボート部 インターハイ・国体優勝
- ▶ オリンピック選手
 - ▶ 岩波 健児、岩本亜紀子(ボート)
 - ▶ 今村 俊明、野明 弘幸(スケート)
 - ▶ 小池 克典(スケート、ショートトラック)
- ▶ 2021(令和3年)年度～2022(令和4年)年度
 - ▶ スケート部 インターハイ2位
 - ▶ 漕艇部 ヨット競技 インターハイ出場
- ▶ 2022、23(令和4,5年度)
 - ▶ 漕艇部 インターハイ出場
 - ▶ 放送部 NHK杯全国放送コンテスト出場

3

Semester制(前期・後期制)による 進学対応型単位制

- ・1年次に一部、半期認定科目を設定
 - 地理総合、歴史総合
 - 通常週2時間実施の2単位科目を、半期で週4時間
集中履修し定着を図る。

4

本校の日課

授業は1コマ65分
+15分で 基礎力の
定着と思考力の伸長
を図る

学年の時間	8:30- 8:45
SHR	8:45- 8:55
1	9:05-10:10
2	10:20-11:25
3	11:35-12:40
昼休み	12:40-13:20
4	13:20-14:25
5	14:35-15:40
清掃	15:40-15:55

希望者は更に放課後、セミナーを実施

5

1年次は共通履修
2・3年次は、人文社会系・国際教養系・自然科学系
に分かれて学習

	1学年 >>	2学年 >>	3学年 >>	
入学・スタート	全員共通履修。全員共通の科目を学び、基礎・基本を固めます	適性や進路目標に合わせてコース(系)を選びます	自然科学系 国際教養系 人文社会系	入試を意識した演習など、進路実現に向けた授業を展開します
	ベーシック・ステージ	アドバンスト・ステージ	ファイナル・ステージ	卒業

6

☆人文社会系

法学、経済、文学、教育、芸術などの分野を目指す人
 ▶文系の科目を中心に幅広く学習します。

☆国際教養系

高度な英語力、国際関係などの分野を目指す人
 ▶英語および英語関連科目に力を入れて学びます。

☆自然科学系

工学、理学、農学、医療系などの分野を目指す人
 ▶数学や理科に力を入れて学びます。

7

充実したキャリア教育

進路講演会
 大学説明会
 一日大学
 ようこそ先輩
 大学見学
 諏訪圏工業メッセ



など大学進学および
 将来を見据えたキャリア
 教育プログラムが充実



8



9



10



クラスマッチ 10月

11



強歩大会 10月

12



13



14

クラブ活動 多彩な選択肢

○運動部(18)

野球 漕艇 スケート バドミントン 男子バレー
女子バレー 男子バスケ 女子バスケ 陸上
水泳 サッカー 卓球 剣道 弓道 ハンドボール
ソフトテニス テニス 山岳

○文化部(11)

英語 吹奏楽 美術 書道 演劇 放送
理科 JRC 家庭科 写真 マルチクリエイター

15



16



17

卒業後の進路

四年制大学 73%、 短期大学 4%、
 専門学校 16%、 就職他 若干名

1クラス40人で言うと、およそこんな感じ

四大29・30名、 短大1・2名、 専門学校 6・7名

18

最近の主な進学先

国公立大学

信州、和歌山、山梨、静岡、新潟、香川、群馬、長野県立、長野、長野県看護、諏訪東京理科、高崎経済、都留文科、東京都立、山梨県立、静岡県立、富山県立など

私立大学

明治、法政、中央、青山学院、学習院、國學院、駒澤、芝浦工業、専修、東洋、東京農業、東京理科、日本、独協、名城、立命館、駿河台、松本、長野保健医療など

19

生徒の声を聴いてみました

▶ 岡谷南高校の魅力は何だと思いますか？

- ・65分授業
- ・強歩大会。地域の方々が笑顔で応援してくれて嬉しかった。
- ・湖が近くにあり自然が豊か
- ・文武両道ができるところ
- ・部活動が盛んなところ
- ・生徒が行事に積極的なところ
- ・自由でも生徒に常識があり節度があるところ
- ・先輩後輩関係なく仲が良いところ
- ・文化祭やクラスマッチなどの生徒会行事が充実している

など

20

生徒の声を聴いてみました

▶ 岡谷新校に望むことは何ですか？

- ・生徒一人ひとりがのびのびとできること
- ・ユニバーサルデザインで誰もが学びやすい校舎
- ・どちらの高校の生徒もその高校の魅力に惹かれて高校を選び受験して入学しているので、南高らしい進学コースと東高らしいスポーツコースのような感じで分けてほしい
- ・生徒会活動や部活動など、生徒の自主的な活動ができるスペースを増やしてほしい
- ・両校の伝統を新校にも引き継いでいくこと
- ・綺麗な校舎とトイレ、充実した設備、寒くない教室(多数)
- ・学力の向上

など

21

ご清聴ありがとうございました。

22